

第5回 飯沼地区意見交換会
「新たな地域コミュニティ」の実現に向けて
(令和7年2月22日(土) AM 実施)

ワークショップ：地域コミュニティ協議会で活動したい取組みを考えてみましょう

【1班】

<現状>

- ・子どもの登下校は保護者の送迎が多い →徒歩通学が少ない
→徒歩通学は危険なため避けたいと思っている保護者が多い
- ・登下校時青パトの見守り →10名がボランティアで活動している →増やしていきたい
- ・コロナで集まりが簡素化
- ・神社祭⇒弁当配布し終了
- ・消防団加入者少ない
- ・子ども会解散危機⇒加入者少ない
- ・独身男性多い
- ・古間木・裏宿は今年祭開催予定
- ・観音講 16軒ほどで継続中（主婦が集まる）

<こうなってほしい>

- ・青パトボランティアの増加⇒交代で運営できる
- ・観音講 →30～40代の女性に参加してほしい
- ・情報収集して、資源を集める
- ・住民を巻き込む
- ・飯沼地区でも食事会ができたなら良い
- ・間に入ってくれる外国籍の方を見つけて、話し合いに入ってもらおう
- ・外国籍の方を雇用している方（農家や企業）から繋がりをつくる
- ・企業との繋がりをもつ⇒例）材木店＝木材でおもちゃづくり
- ・地域住民がともにくらすためにはどうすれば良いか



- ①コミュニティに溶け込めやすい環境を整える
- ②公民館利用時⇒ルールをきちんと伝える
- ③丁寧なコミュニケーションを大切にする

【2班】

<現状>

- ・公園の遊具が撤去 →コミュニケーションの希薄化
- ・公民館利用が少ない
- ・祭り中止の話も出ているが高齢化や若い世代が少なく前に進めない
- ・事業を行いたいという思いはあるが、実際に動いてくれる人は少ない
- ・話し合いができる環境があれば良い
- ・農業で多忙な人が多い
- ・鬼怒川を隔てて、地域性が違う
- ・消防団への加入者が少ない

<こうなってほしい>

- ・公園遊具の再設置
- ・文化の日祭りが核となると良い
- ・防災組織ができると良い